

第 69 回「山形県内家計の消費動向調査」結果

(令和 5 年 9 月調査)

消費マインドは足踏み状態、先行きは慎重な見通し

【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲94.5（前期比 0.2 ポイント下落）とほぼ横ばいの推移となった。内訳は景気判断指数が▲53.1（前期比 4.1 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲41.4（前期比 3.9 ポイント上昇）と、景気判断指数が悪化となった一方、暮らし向き判断指数は改善となった。
- **今後の見通し**は、**消費指数が▲103.7（今回調査比 9.2 ポイント下落）と悪化の見込み**となっている。内訳は景気判断指数が▲55.4（今回調査比 2.3 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲48.3（今回調査比 6.9 ポイント下落）といずれも悪化が見込まれている。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「自家用車（中古車含む）」「住宅（マンション・中古住宅含む）・土地」は上昇となった一方、「住宅リフォーム」「海外旅行」は低下となった。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 474 千円と前年同期に比べて 10 千円の増加となった。支出面では支出計が 376 千円と前年同期比で 16 千円の減少となった。その結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 79.3%となり、前年同期に比べて 5.1 ポイントの低下となった。
- **夏季ボーナスの支給状況**を尋ねたところ、「支給された」が 79.8%（前年比 3.6 ポイント上昇）と前年から上昇となり、7 割以上を占めた。

令和 5 年 10 月
株式会社フィデア情報総研

目次

I.	消費指数（総括）	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
（1）	景気判断の概況	3
（2）	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
（1）	暮らし向き判断の概況	5
（2）	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
（1）	支出意向D Iの推移	7
（2）	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	夏季ボーナスの支給状況と使い道について	11
（1）	夏季ボーナス支給の有無	11
（2）	支給状況	11
（3）	主な使い道	12
（4）	夏季ボーナスを貯蓄する目的	12
VI.	調査の概要	13

I. 消費指数（総括）

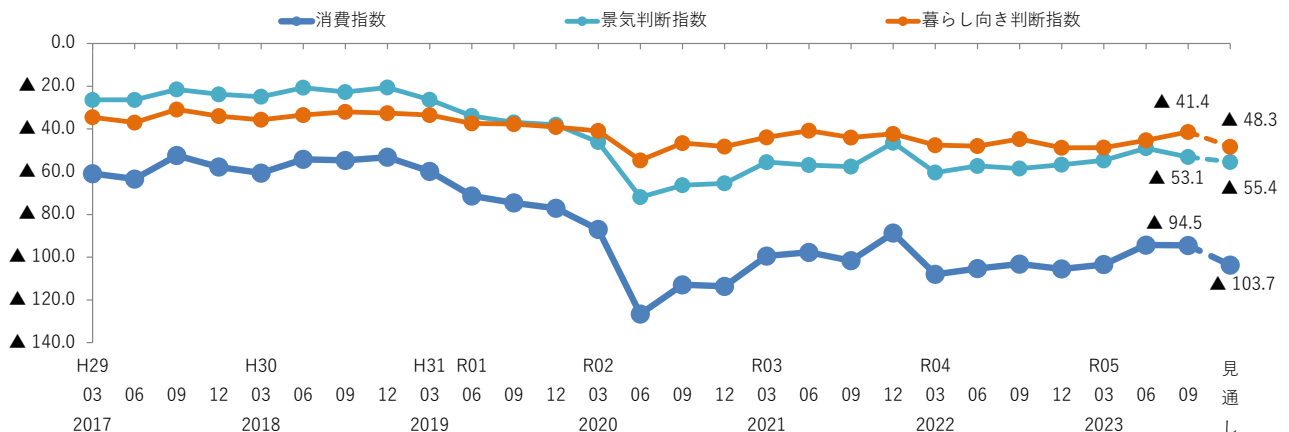
～ 消費マインドは足踏み状態、先行きは慎重な見通し ～

消費指数は▲94.5（前期比 0.2 ポイント下落）とほぼ横ばいの推移となった。内訳は景気判断指数が▲53.1（前期比 4.1 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲41.4（前期比 3.9 ポイント上昇）と、景気判断指数が悪化となった一方、暮らし向き判断指数は改善となった。

今後の見通しについては、消費指数が▲103.7（今回調査比 9.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲55.4（今回調査比 2.3 ポイント下落）、暮らし向き判断指数が▲48.3（今回調査比 6.9 ポイント下落）といずれも悪化が見込まれている。

人流回復に伴う改善の動きがみられた一方で、食料品等の相次ぐ値上げによる家計の負担感、日常生活における節約志向は依然強く、総じてみれば消費マインドは横ばい圏の推移となった。先行きは、物価上昇への警戒感などから慎重な姿勢が続く見通しとなっており、為替相場や海外情勢の影響を今後も注視していく必要がある。

図表 1 消費指数の推移



【指数の見方】

消費指数は（1）景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と（2）暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
30年	9月	▲ 54.7	▲ 22.7	▲ 4.2	▲ 0.8	▲ 17.7	▲ 32.0	▲ 7.0	▲ 9.4	▲ 5.0	▲ 10.6
	12月	▲ 53.2	▲ 20.6	▲ 4.3	0.6	▲ 16.9	▲ 32.6	▲ 7.0	▲ 8.7	▲ 6.0	▲ 10.9
31年	3月	▲ 59.8	▲ 26.3	▲ 6.6	▲ 0.6	▲ 19.1	▲ 33.5	▲ 6.5	▲ 9.5	▲ 6.6	▲ 10.9
	6月	▲ 71.3	▲ 33.9	▲ 8.9	▲ 3.4	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 8.2	▲ 9.8	▲ 7.3	▲ 12.1
	9月	▲ 74.6	▲ 36.9	▲ 9.8	▲ 5.4	▲ 21.7	▲ 37.7	▲ 9.6	▲ 9.7	▲ 6.8	▲ 11.6
01年	12月	▲ 77.1	▲ 38.0	▲ 10.1	▲ 5.6	▲ 22.3	▲ 39.1	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 11.9
	3月	▲ 87.0	▲ 46.1	▲ 15.6	▲ 10.2	▲ 20.3	▲ 40.9	▲ 9.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 12.2
	6月	▲ 126.6	▲ 71.9	▲ 25.1	▲ 25.3	▲ 21.5	▲ 54.7	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 13.1	▲ 15.2
	9月	▲ 112.9	▲ 66.3	▲ 23.0	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 46.6	▲ 11.5	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 13.1
02年	12月	▲ 113.6	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 23.4	▲ 18.5	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3
	3月	▲ 99.4	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9
	6月	▲ 97.7	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7
	9月	▲ 101.6	▲ 57.6	▲ 17.8	▲ 15.9	▲ 23.9	▲ 44.0	▲ 10.2	▲ 9.7	▲ 12.0	▲ 12.1
03年	12月	▲ 88.7	▲ 46.4	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 10.6	▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 12.3
	3月	▲ 108.0	▲ 60.4	▲ 18.2	▲ 14.5	▲ 27.7	▲ 47.6	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.0	▲ 13.4
	6月	▲ 105.3	▲ 57.3	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 29.2	▲ 48.0	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 10.4	▲ 13.9
	9月	▲ 103.2	▲ 58.5	▲ 16.6	▲ 12.0	▲ 29.9	▲ 44.7	▲ 10.8	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.3
04年	12月	▲ 105.5	▲ 56.7	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 30.1	▲ 48.8	▲ 11.4	▲ 12.0	▲ 10.5	▲ 14.9
	3月	▲ 103.4	▲ 54.7	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 29.9	▲ 48.7	▲ 10.4	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 15.8
	6月	▲ 94.3	▲ 49.0	▲ 11.3	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 45.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 10.6	▲ 14.6
	9月	▲ 94.5	▲ 53.1	▲ 13.0	▲ 9.2	▲ 30.9	▲ 41.4	▲ 10.0	▲ 8.5	▲ 8.3	▲ 14.6
05年	見通し	▲ 103.7	▲ 55.4	▲ 15.0	▲ 11.0	▲ 29.4	▲ 48.3	▲ 11.6	▲ 9.9	▲ 11.3	▲ 15.5

(前期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
30年	9月	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 1.2	0.5	1.5	▲ 0.2	0.4	0.5	0.8
	12月	1.5	2.1	▲ 0.1	1.4	0.8	▲ 0.6	0.0	0.7	▲ 1.0	▲ 0.3
31年	3月	▲ 6.6	▲ 5.7	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 0.9	0.5	▲ 0.8	▲ 0.6	0.0
	6月	▲ 11.5	▲ 7.6	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 3.9	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.2
	9月	▲ 3.3	▲ 3.0	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.4	0.1	0.5	0.5
01年	12月	▲ 2.5	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.4	0.8	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.3
	3月	▲ 9.9	▲ 8.1	▲ 5.5	▲ 4.6	2.0	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.3
	6月	▲ 39.6	▲ 25.8	▲ 9.5	▲ 15.1	▲ 1.2	▲ 13.8	▲ 3.8	▲ 2.0	▲ 5.0	▲ 3.0
	9月	13.7	5.6	2.1	3.7	▲ 0.2	8.1	1.3	2.6	2.1	2.1
02年	12月	▲ 0.7	0.9	▲ 0.5	▲ 1.8	3.2	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 0.5	0.3	▲ 0.2
	3月	14.2	9.9	5.3	4.9	▲ 0.3	4.3	2.1	2.0	▲ 1.2	1.4
	6月	1.7	▲ 1.4	0.4	1.1	▲ 2.9	3.1	0.6	0.4	1.9	0.2
	9月	▲ 3.9	▲ 0.7	0.0	1.5	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 0.4
03年	12月	12.9	11.2	6.1	5.5	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	0.8	1.5	▲ 0.2
	3月	▲ 19.3	▲ 14.0	▲ 6.5	▲ 4.1	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 0.7	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 1.1
	6月	2.7	3.1	1.7	2.9	▲ 1.5	▲ 0.4	0.0	▲ 1.5	1.6	▲ 0.5
	9月	2.1	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.7	3.3	0.5	2.1	0.1	0.6
04年	12月	▲ 2.3	1.8	0.7	1.3	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 1.6
	3月	2.1	2.0	0.9	0.9	0.2	0.1	1.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.9
	6月	9.1	5.7	3.7	2.1	▲ 0.1	3.4	0.7	1.4	0.1	1.2
	9月	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 0.9	3.9	▲ 0.3	1.9	2.3	0.0
05年	見通し	▲ 9.2	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 1.8	1.5	▲ 6.9	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 3.0	▲ 0.9

(前年同期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
30年	9月	▲ 2.3	▲ 1.2	0.9	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1
	12月	4.6	3.2	0.5	0.9	1.8	1.4	▲ 0.4	0.0	0.2	0.8
31年	3月	0.8	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 0.2	1.1	2.2	0.6	0.4	0.4	0.8
	6月	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 6.0	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 3.9	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8	▲ 0.7
	9月	▲ 19.9	▲ 14.2	▲ 5.6	▲ 4.6	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 1.0
01年	12月	▲ 23.9	▲ 17.4	▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 6.5	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.0
	3月	▲ 27.2	▲ 19.8	▲ 9.0	▲ 9.6	▲ 1.2	▲ 7.4	▲ 2.5	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 1.3
	6月	▲ 55.3	▲ 38.0	▲ 16.2	▲ 21.9	0.1	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 3.1
	9月	▲ 38.3	▲ 29.4	▲ 13.2	▲ 16.2	0.0	▲ 8.9	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 4.2	▲ 1.5
02年	12月	▲ 36.5	▲ 27.4	▲ 13.4	▲ 17.8	3.8	▲ 9.1	▲ 3.9	▲ 0.8	▲ 3.0	▲ 1.4
	3月	▲ 12.4	▲ 9.4	▲ 2.6	▲ 8.3	1.5	▲ 3.0	▲ 1.6	2.1	▲ 3.8	0.3
	6月	28.9	15.0	7.3	7.9	▲ 0.2	13.9	2.8	4.5	3.1	3.5
	9月	11.3	8.7	5.2	5.7	▲ 2.2	2.6	1.3	1.3	▲ 1.0	1.0
03年	12月	24.9	19.0	11.8	13.0	▲ 5.8	5.9	2.1	2.6	0.2	1.0
	3月	▲ 8.6	▲ 4.9	0.0	4.0	▲ 8.9	▲ 3.7	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 1.5
	6月	▲ 7.6	▲ 0.4	1.3	5.8	▲ 7.5	▲ 7.2	▲ 1.3	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 2.2
	9月	▲ 1.6	▲ 0.9	1.2	3.9	▲ 6.0	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.6	1.7	▲ 1.2
04年	12月	▲ 16.8	▲ 10.3	▲ 4.2	▲ 0.3	▲ 5.8	▲ 6.5	▲ 0.8	▲ 3.1	0.0	▲ 2.6
	3月	4.6	5.7	3.2	4.7	▲ 2.2	▲ 1.1	0.9	▲ 0.9	1.3	▲ 2.4
	6月	11.0	8.3	5.2	3.9	▲ 0.8	2.7	1.6	2.0	▲ 0.2	▲ 0.7
	9月	8.7	5.4	3.6	2.8	▲ 1.0	3.3	0.8	1.8	2.0	▲ 1.3
05年	見通し	1.8	1.3	0.9	▲ 0.3	0.7	0.5	▲ 0.2	2.1	▲ 0.8	▲ 0.6

II. 消費指数（内訳）

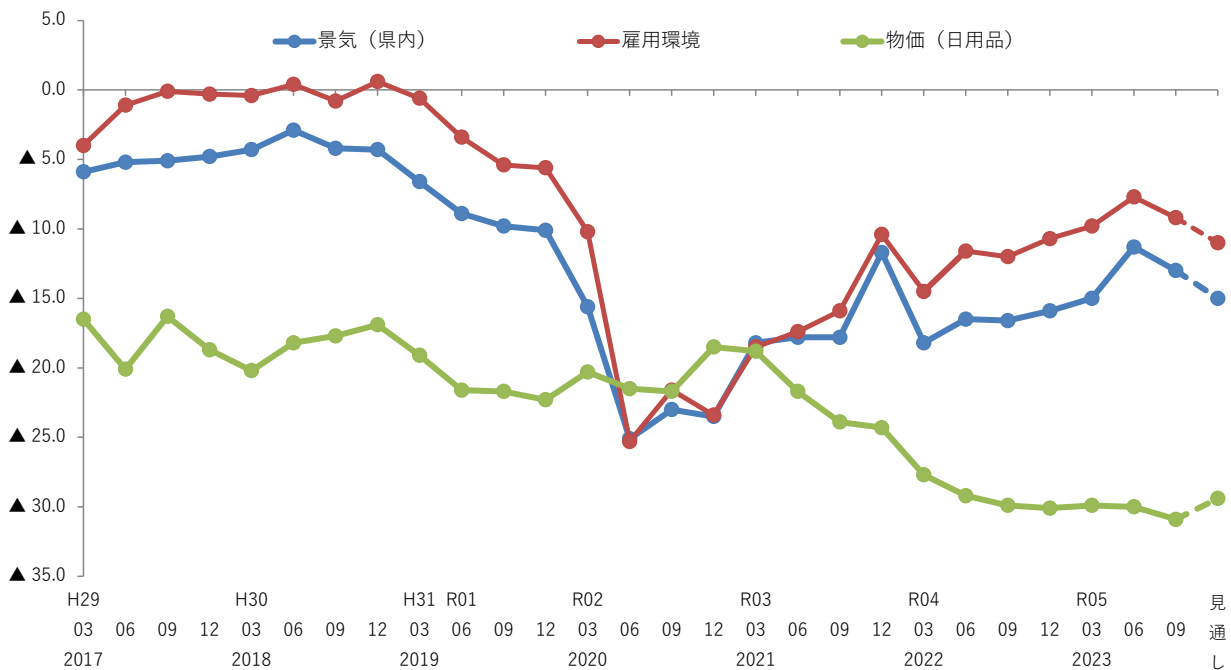
1. 景気判断

（1）景気判断の概況

景気判断指数は▲53.1（前期比 4.1 ポイント下落）と 4 期ぶりの悪化となった。景気判断指数を構成する 3 つの指数については、「景気（県内）」が▲13.0（前期比 1.7 ポイント下落）、「雇用環境」が▲9.2（前期比 1.5 ポイント下落）、「物価（日用品）」が▲30.9（前期比 0.9 ポイント下落）と、すべての項目で小幅ながら悪化となった。

今後の見通しについては、▲55.4（今回調査比 2.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

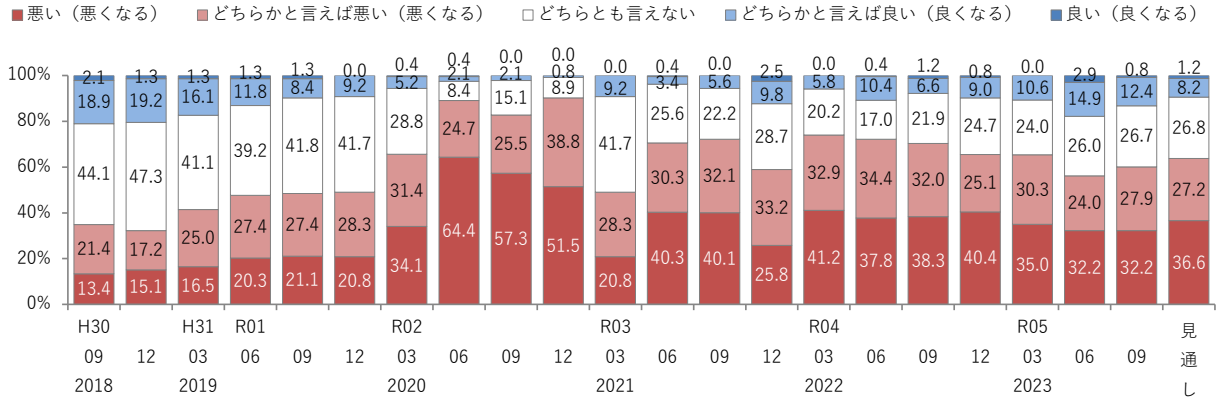
図表 3 景気判断指数（内訳）の推移



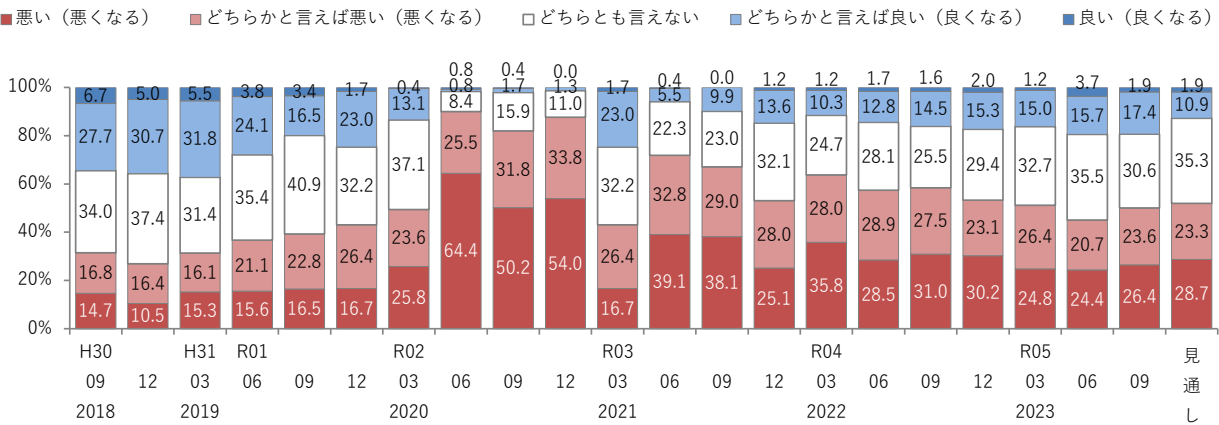
調査時期		景気判断指数			
		景気（県内）」	雇用環境	物価（日用品）」	
04年	3月	▲ 60.4	▲ 18.2	▲ 14.5	▲ 27.7
	6月	▲ 57.3	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 29.2
	9月	▲ 58.5	▲ 16.6	▲ 12.0	▲ 29.9
	12月	▲ 56.7	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 30.1
05年	3月	▲ 54.7	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 29.9
	6月	▲ 49.0	▲ 11.3	▲ 7.7	▲ 30.0
05年	9月	▲ 53.1	▲ 13.0	▲ 9.2	▲ 30.9
	(前期比)	(▲ 4.1)	(▲ 1.7)	(▲ 1.5)	(▲ 0.9)
	(前年同期比)	(5.4)	(3.6)	(2.8)	(▲ 1.0)
05年	見通し	▲ 55.4	▲ 15.0	▲ 11.0	▲ 29.4
	(前期比)	(▲ 2.3)	(▲ 2.0)	(▲ 1.8)	(1.5)

(2) 景気判断の推移

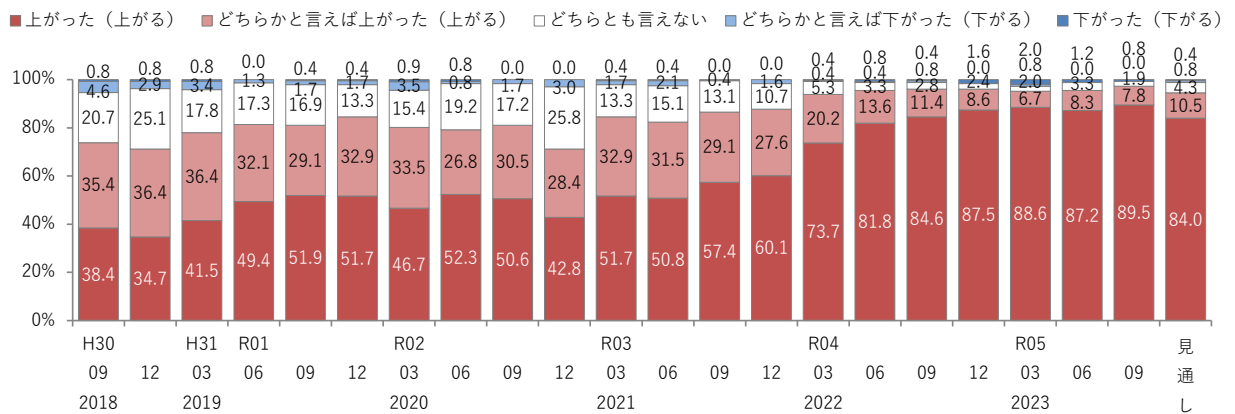
① 景気 (県内)



② 雇用環境



③ 物価 (日用品)



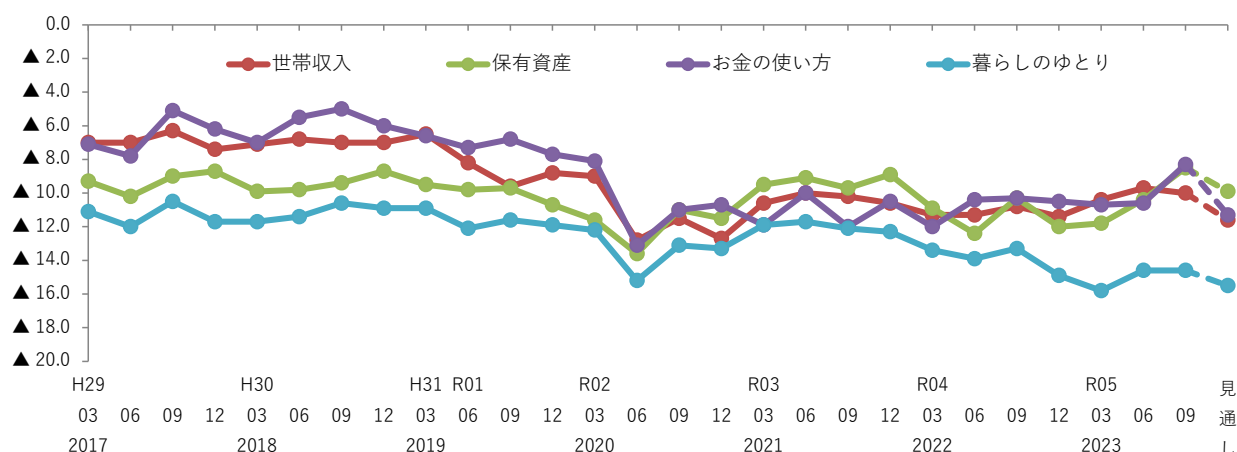
2. 暮らし向き判断

(1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲41.4（前期比 3.9 ポイント上昇）と 3 期連続で改善となった。暮らし向き判断指数を構成する 4 つの指数については、「世帯収入」が▲10.0（前期比 0.3 ポイント下落）、「保有資産」が▲8.5（前期比 1.9 ポイント上昇）、「お金の使い方」が▲8.3（前期比 2.3 ポイント上昇）、「暮らしのゆとり」が▲14.6（前期比±0.0 ポイント）と、「暮らしのゆとり」は横ばい、「世帯収入」は若干悪化となった一方、「保有資産」と「お金の使い方」は改善となった。

今後の見通しについては、▲48.3（今回調査比 6.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

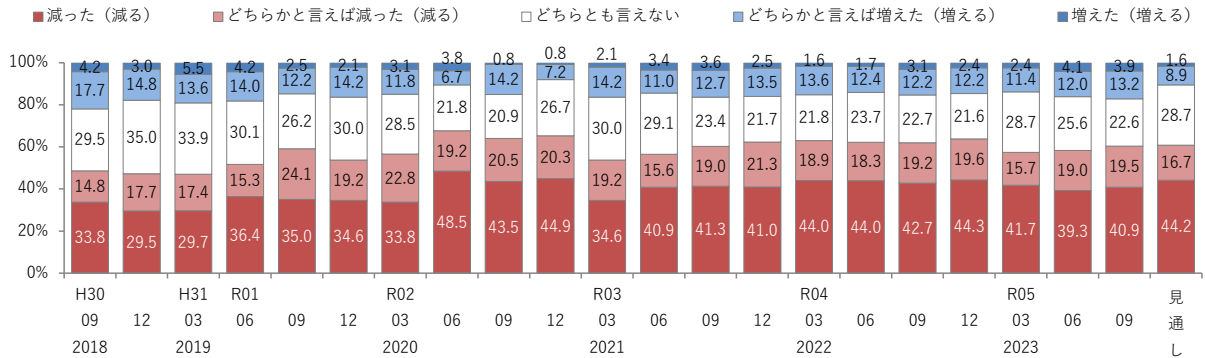
図表 4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



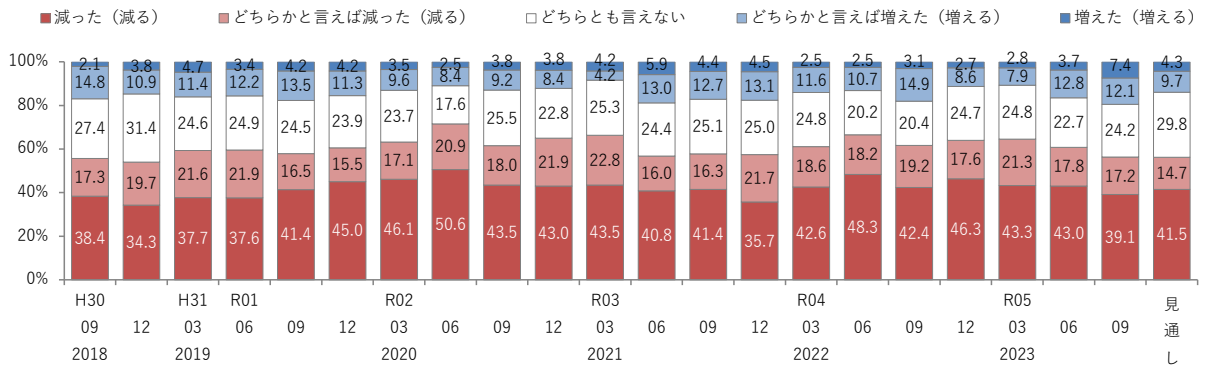
調査時期		暮らし向き判断指数				
		世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
04年	3月	▲ 47.6	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 12.0	▲ 13.4
	6月	▲ 48.0	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 10.4	▲ 13.9
	9月	▲ 44.7	▲ 10.8	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 13.3
	12月	▲ 48.8	▲ 11.4	▲ 12.0	▲ 10.5	▲ 14.9
05年	3月	▲ 48.7	▲ 10.4	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 15.8
	6月	▲ 45.3	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 10.6	▲ 14.6
05年	9月	▲ 41.4	▲ 10.0	▲ 8.5	▲ 8.3	▲ 14.6
	(前期比)	(3.9)	(▲ 0.3)	(1.9)	(2.3)	(0.0)
	(前年同期比)	(3.3)	(0.8)	(1.8)	(2.0)	(▲ 1.3)
05年	見通し	▲ 48.3	▲ 11.6	▲ 9.9	▲ 11.3	▲ 15.5
	(前期比)	(▲ 6.9)	(▲ 1.6)	(▲ 1.4)	(▲ 3.0)	(▲ 0.9)

(2) 暮らし向き判断の推移

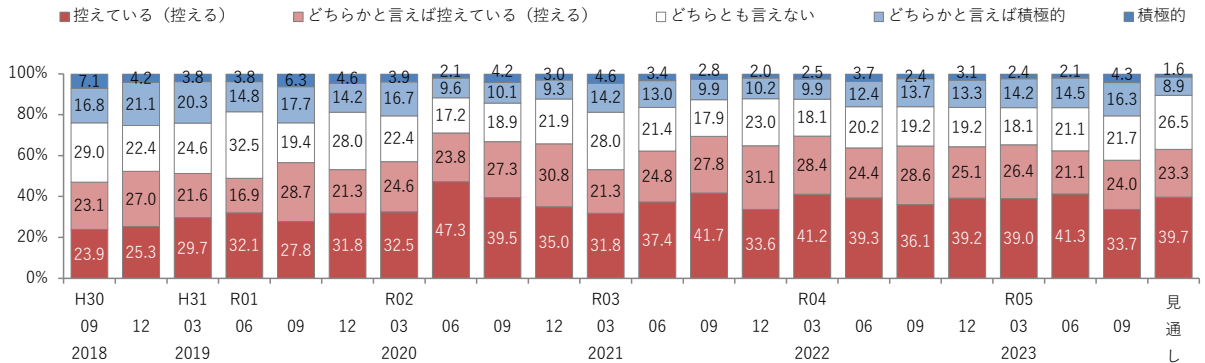
① 世帯（勤労）収入



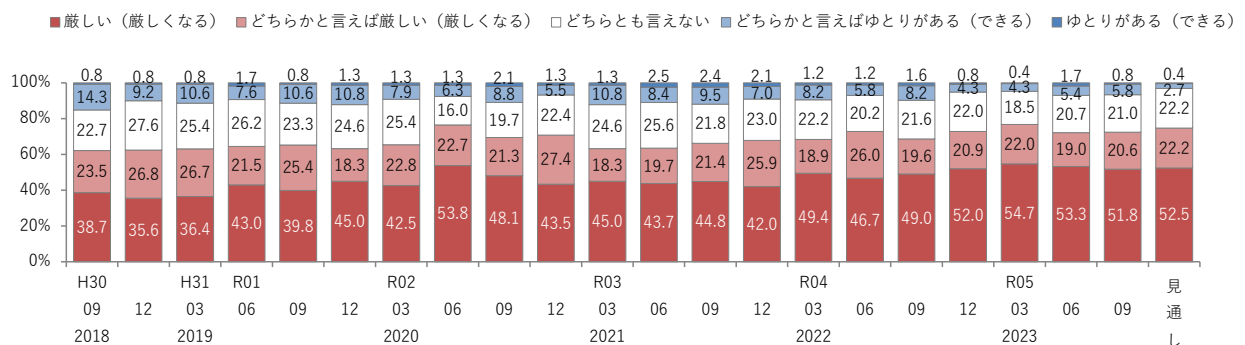
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり



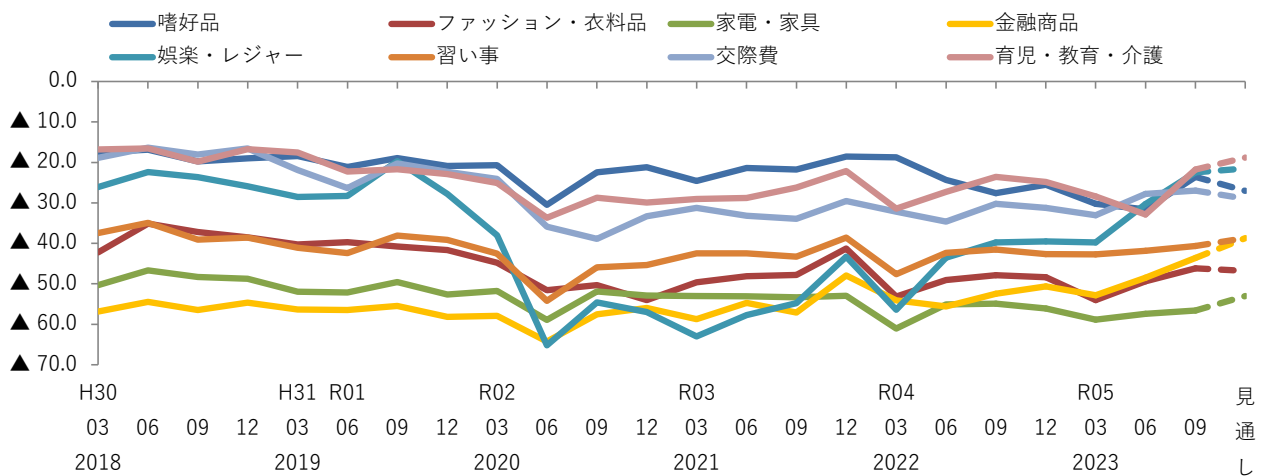
III. 支出意向

(1) 支出意向DIの推移

支出意向DIの平均値は、▲35.2（前期比4.8ポイント上昇）と2期連続の改善となった。支出意向DIを構成する8つの項目をみると、すべての項目で改善となったが、変化幅にはばらつきがみられる。

今後の見通しは、▲34.2（今回調査比1.0ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 5 支出意向DIの推移



調査時期	支出意向DI									
		嗜好品	ファッション・衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽・レジャー	習い事	交際費	育児・教育・介護	
04年	6月	▲ 41.5	▲ 24.3	▲ 49.1	▲ 55.1	▲ 55.6	▲ 43.6	▲ 42.4	▲ 34.6	▲ 27.3
	9月	▲ 39.7	▲ 27.6	▲ 47.9	▲ 54.9	▲ 52.5	▲ 39.8	▲ 41.5	▲ 30.2	▲ 23.6
	12月	▲ 39.9	▲ 25.5	▲ 48.4	▲ 56.1	▲ 50.7	▲ 39.6	▲ 42.7	▲ 31.3	▲ 24.8
05年	3月	▲ 42.5	▲ 30.2	▲ 54.0	▲ 58.9	▲ 52.9	▲ 39.8	▲ 42.7	▲ 33.1	▲ 28.4
	6月	▲ 40.0	▲ 31.6	▲ 49.4	▲ 57.4	▲ 48.5	▲ 30.3	▲ 41.9	▲ 27.8	▲ 32.9
05年	9月	▲ 35.2	▲ 23.6	▲ 46.2	▲ 56.6	▲ 43.6	▲ 22.5	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 21.8
	(前期比)	(4.8)	(8.0)	(3.2)	(0.8)	(4.9)	(7.8)	(1.2)	(0.8)	(11.1)
05年	(前年同期比)	(4.5)	(4.1)	(1.7)	(▲ 1.7)	(8.8)	(17.3)	(0.8)	(3.3)	(1.9)
	見通し	▲ 34.2	▲ 27.0	▲ 46.8	▲ 53.0	▲ 38.7	▲ 21.5	▲ 38.7	▲ 29.0	▲ 18.8
	(前期比)	(1.0)	(▲ 3.5)	(▲ 0.6)	(3.6)	(4.9)	(1.0)	(2.0)	(▲ 2.1)	(3.0)

【DI値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

例) 嗜好品DI値

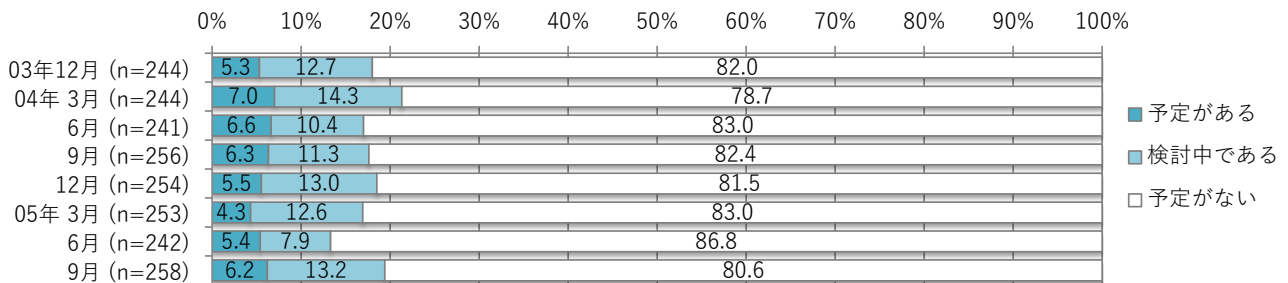
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

(2) 支出意向 (大きな買い物) の推移

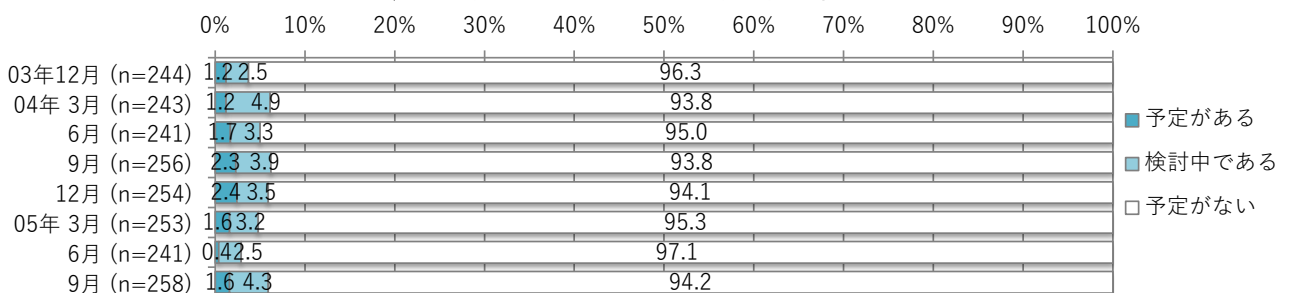
大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」が 6.2% (前期比 0.8 ポイント上昇)、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」が 1.6% (前期比 1.2 ポイント上昇)、「住宅リフォーム」が 2.3% (前期比 1.0 ポイント低下)、「海外旅行」が 1.2% (前期比 0.1 ポイント低下) と、「自家用車 (中古車含む)」「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」は上昇となった一方、「住宅リフォーム」「海外旅行」は低下となった。

大きな買い物 (支出) に前向きな世帯 (「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯) の割合は、「自家用車 (中古車含む)」「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」は上昇となった一方、「住宅リフォーム」「海外旅行」は低下となった。

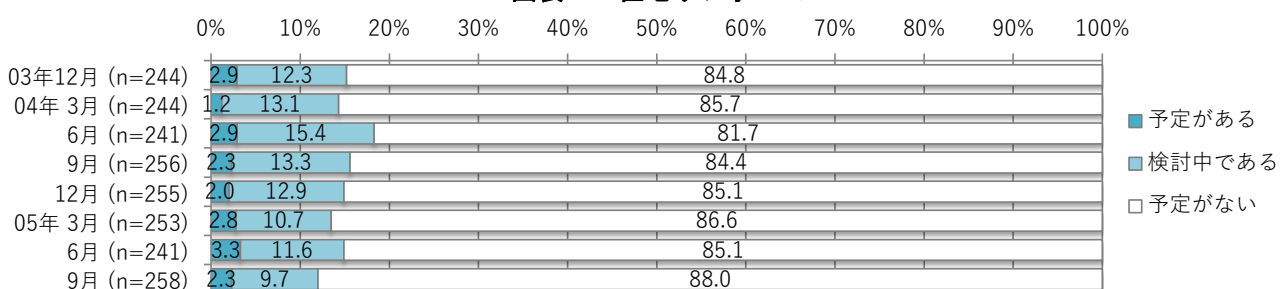
図表 6 自家用車 (中古車含む)



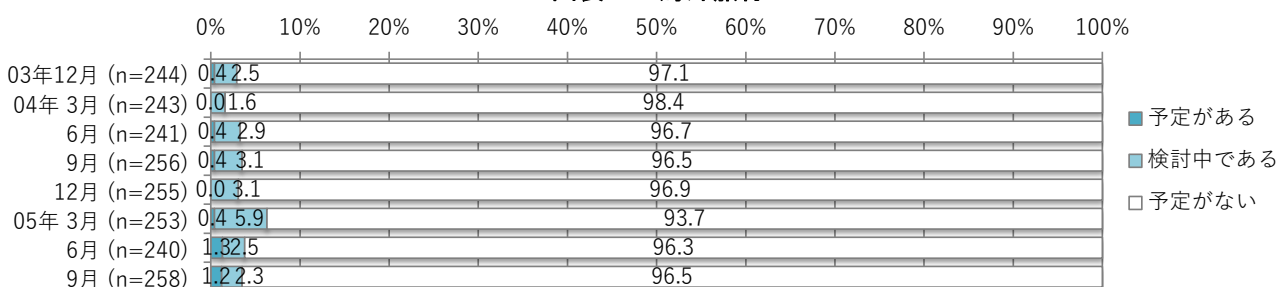
図表 7 住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地



図表 8 住宅リフォーム



図表 9 海外旅行

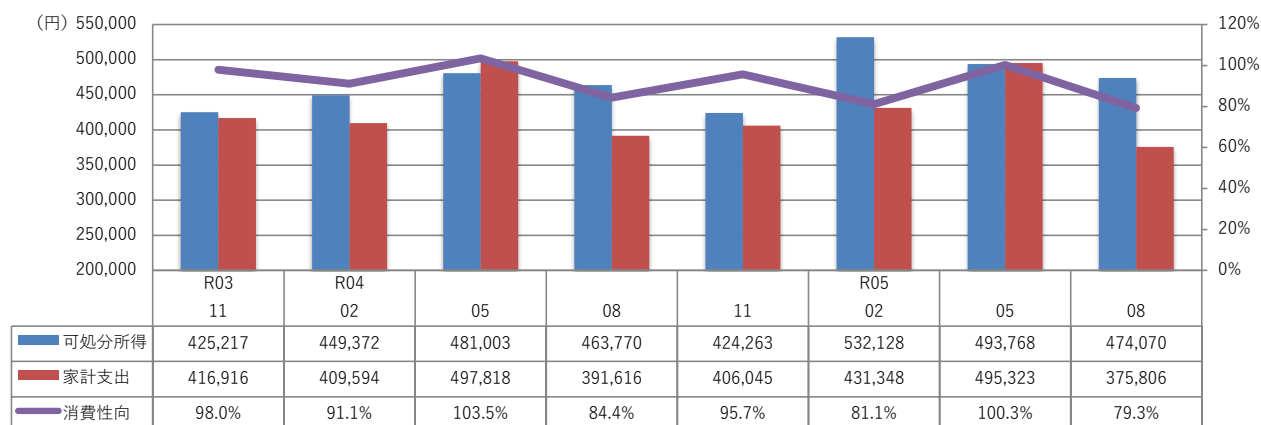


IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿 (258 世帯平均)

調査項目		調査年月			(単位：円)	
		04年 8月	05年 5月	05年 8月	前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	312,853	326,814	327,261	447	14,408
	世帯主の臨時給与《支給額》	38,763	4,941	45,680	40,739	6,917
	A. 世帯主の給与《支給額》	351,616	331,755	372,941	41,186	21,325
	世帯員の定例給与《支給額》	130,685	129,130	120,539	▲ 8,591	▲ 10,146
	世帯員の臨時給与《支給額》	19,674	888	13,461	12,573	▲ 6,213
	B. 世帯員の給与《支給額》	150,359	130,018	134,000	3,982	▲ 16,359
世帯収入合計《支給額》(A+B)		501,975	461,773	506,941	45,168	4,966
收 入	世帯主の定例給与《手取り額》	248,383	258,451	259,421	970	11,038
	世帯主の臨時給与《手取り額》	31,441	4,020	38,003	33,983	6,562
	C. 世帯主の勤労収入合計《手取り額》	279,824	262,471	297,424	34,953	17,600
	世帯員の定例給与《手取り額》	108,039	105,687	100,082	▲ 5,605	▲ 7,957
	世帯員の臨時給与《手取り額》	16,246	713	12,216	11,503	▲ 4,030
D. 世帯員の勤労収入合計《手取り額》	124,285	106,400	112,298	5,898	▲ 11,987	
世帯勤労収入合計《手取り額》(C+D)		404,109	368,871	409,722	40,851	5,613
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)	34,874	7,006	29,117	22,111	▲ 5,757
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	699	467	483	16	▲ 216
	3. 各種手当(児童手当など)	3,541	3,721	3,806	85	265
	4. 利息、株式配当、投信分配金	458	422	876	454	418
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)	0	248	638	390	638
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)	1,746	1,186	1,093	▲ 93	▲ 653
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	39	4,701	581	▲ 4,120	542
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)	0	0	0	0	0
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)	379	967	378	▲ 589	▲ 1
	10. 保険満期返戻金	1,662	84,653	17,442	▲ 67,211	15,780
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	4,644	1,508	174	▲ 1,334	▲ 4,470
	12. 相続、贈与、退職金	0	0	3,326	3,326	3,326
	13. 祝金、謝礼金、香典など	5,232	3,967	795	▲ 3,172	▲ 4,437
	14. 身内からの仕送り	2,492	7,595	1,426	▲ 6,169	▲ 1,066
	15. 借入れ(カードローン、キャッシング)	411	6,646	1,059	▲ 5,587	648
	16. その他	3,484	1,810	3,154	1,344	▲ 330
E. その他収入(控除後)	59,661	124,897	64,348	▲ 60,549	4,687	
I. 収入計(C+D+E)		463,770	493,768	474,070	▲ 19,698	10,300
支 出	1. 食費(飲食会費は含まない)	55,500	56,806	56,659	▲ 147	1,159
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)	15,301	17,089	16,266	▲ 823	965
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	26,677	31,229	27,494	▲ 3,735	817
	4. 生活用品(生活雑費、家事消耗品など)	12,310	11,528	12,620	1,092	310
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリー等)	8,959	8,688	10,650	1,962	1,691
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	14,095	13,148	12,050	▲ 1,098	▲ 2,045
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	3,444	3,348	4,087	739	643
	8. 交通費2(ガソリン代)	17,862	17,736	18,656	920	794
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	10,859	33,322	12,483	▲ 20,839	1,624
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	22,193	20,772	20,683	▲ 89	▲ 1,510
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	12,500	28,865	11,439	▲ 17,426	▲ 1,061
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	4,436	4,908	5,174	266	738
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	19,255	16,293	13,408	▲ 2,885	▲ 5,847
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)	10,954	12,313	15,340	3,027	4,386
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	3,309	4,018	2,544	▲ 1,474	▲ 765
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	6,814	4,676	7,108	2,432	294
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)	13,846	73,242	3,284	▲ 69,958	▲ 10,562
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定額年金保険)	11,133	8,508	11,231	2,723	98
	19. 借入返済1(住宅ローン)	31,031	33,334	31,596	▲ 1,738	565
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)	13,400	14,688	13,662	▲ 1,026	262
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	34,836	47,148	29,546	▲ 17,602	▲ 5,290
	22. 身内への仕送り(学生など)	8,692	6,364	6,159	▲ 205	▲ 2,533
	23. 小遣い、その他	34,210	27,300	33,667	6,367	▲ 543
II. 支出計		391,616	495,323	375,806	▲ 119,517	▲ 15,810
平均消費性向(支出計÷収入計×100)		84.4%	100.3%	79.3%	▲ 21.0%	▲ 5.1%
平均貯蓄性向(1-平均消費性向)		15.6%	▲ 0.3%	20.7%	21.0%	5.1%

図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 474 千円と前年同期に比べて 10 千円の増加となった。勤労収入では、「世帯主の勤労収入合計（手取り額）」が前年同期比で 18 千円の増加、「世帯員の勤労収入合計（手取り額）」は 12 千円の減少となり、「世帯勤労収入合計（手取り額）」は 410 千円（前年同期比 6 千円増加）となった。「その他収入（控除後）」は 64 千円（前年同期比 5 千円増加）で、減少額の大きな項目は「公的年金給付（老齢、障害、遺族年金）」（前年同期比 6 千円減少）で、増加額の大きな項目は「保険満期返戻金」（前年同期比 16 千円増加）となった。

支出面では、支出計が 376 千円と前年同期比で 16 千円の減少となった。内訳をみると、減少額が大きな項目は「金融商品 1（株、国債、外貨、金など）」（前年同期比 11 千円減少）や「交際費（飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など）」（前年同期比 6 千円減少）となった一方、大きく増加した項目はなかった。

その結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 79.3%となり、前年同期に比べて 5.1 ポイントの低下となった。

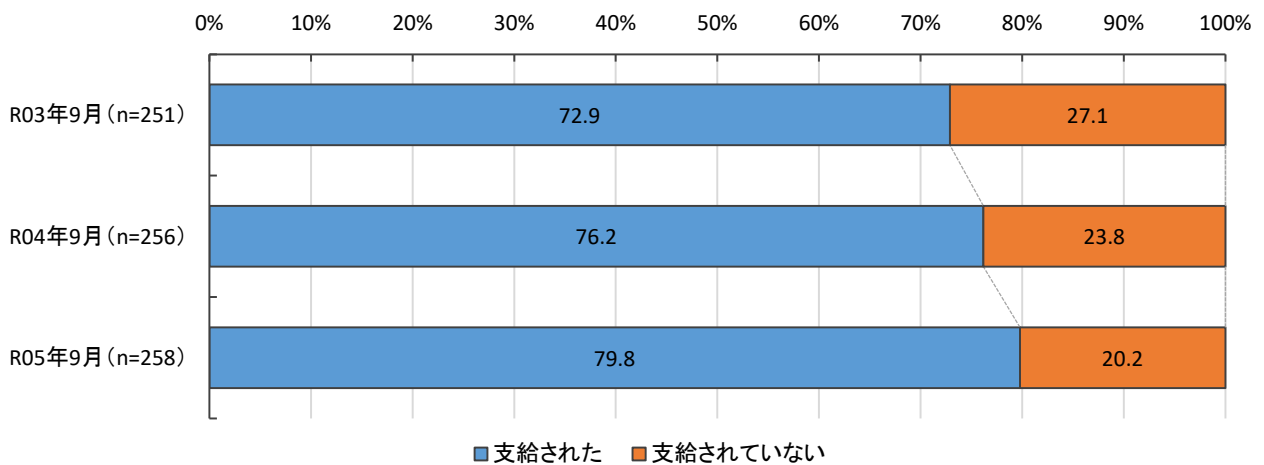
V. 特別調査

1. 夏季ボーナスの支給状況と使い道について

(1) 夏季ボーナス支給の有無

家計の主たる収入を得ている人について、夏季ボーナスが支給されたかどうかを尋ねたところ、「支給された」が 79.8%（前年比 3.6 ポイント上昇）と前年から上昇となり、7 割以上を占めた。

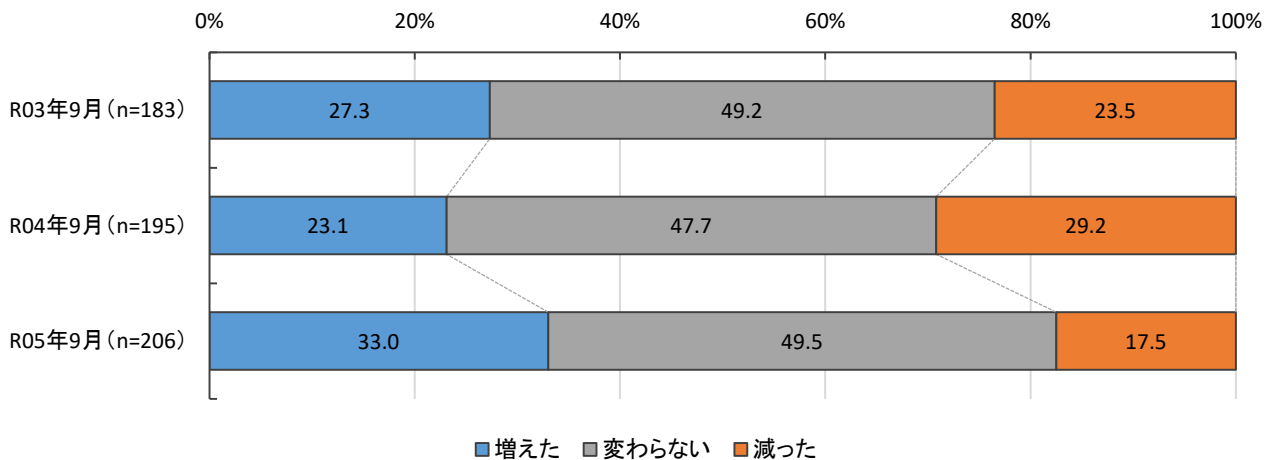
図表 12 夏季ボーナス支給の有無について



(2) 支給状況

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、前年と比べた支給額の状況を尋ねたところ、「変わらない」が 49.5%（前年比 1.8 ポイント上昇）ともっとも高く約 5 割を占め、次いで「増えた」が 33.0%（前年比 9.9 ポイント上昇）、「減った」が 17.5%（前年比 11.7 ポイント低下）となった。

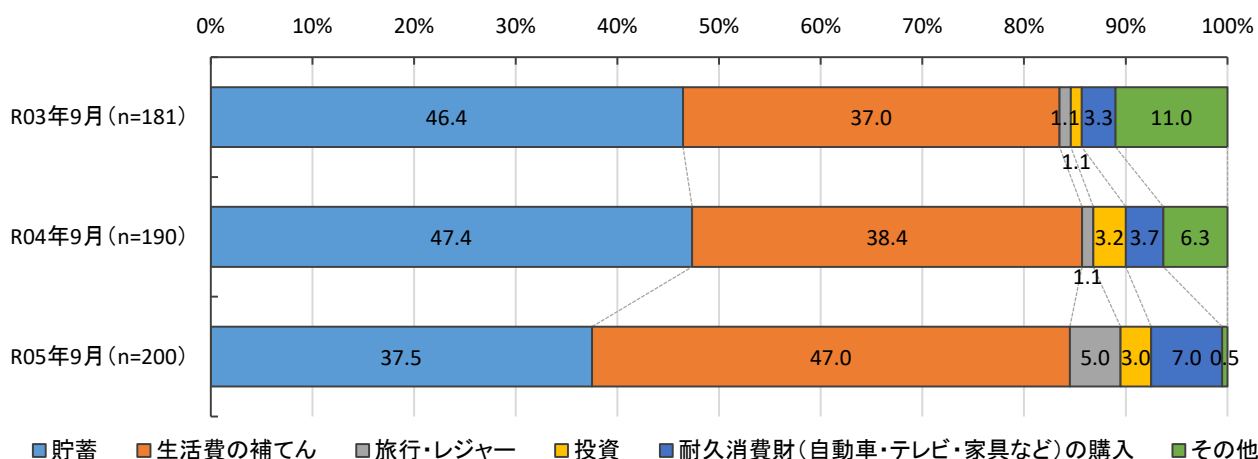
図表 13 前年の夏季ボーナスと比べた支給状況



(3) 主な使い道

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、ボーナスの使い道（もっとも金額が大きいもの）を尋ねたところ、「生活費の補てん」が47.0%（前年比8.6ポイント上昇）ともっとも高く、次いで「貯蓄」が37.5%（前年比9.9ポイント低下）となった。「貯蓄」「投資（3.0%）」は低下した一方、「生活費の補てん」「耐久消費財（自動車・テレビ・家具など）の購入（7.0%）」「旅行・レジャー（5.0%）」は上昇した。

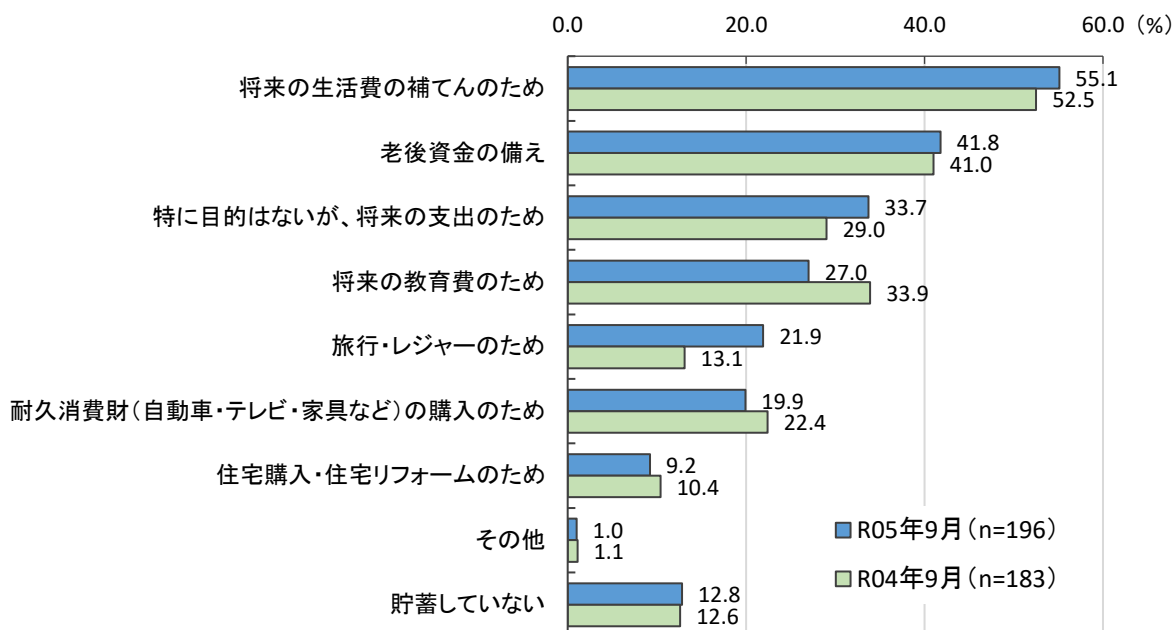
図表 14 主な使い道



(4) 夏季ボーナスを貯蓄する目的

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、ボーナスのうち貯蓄にあてた分について、その目的を尋ねたところ、「将来の生活費の補てんのため（55.1%）」がもっとも高く5割以上を占めた。次いで「老後資金の備え（41.8%）」、「特に目的はないが、将来の支出のため（33.7%）」、「将来の教育費のため（27.0%）」と続いた。引き続き、将来に備える生活防衛意識は高く、上位2項目は前年と同様の結果となった。

図表 15 夏季ボーナスを貯蓄する目的（複数回答）



VI. 調査の概要

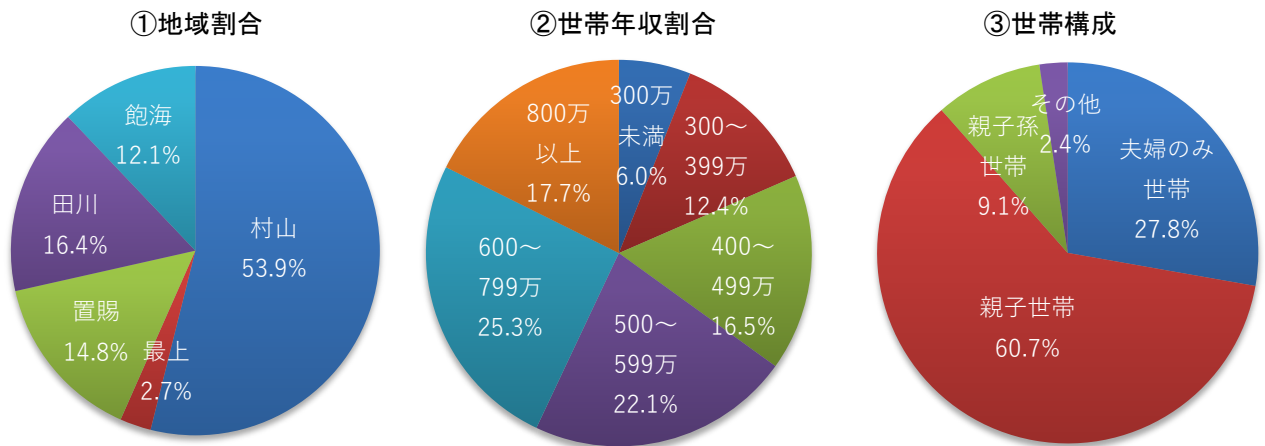
1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：270 世帯 有効回答数：258 世帯 回答率：95.5%

3. 回答モニター属性



4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数 2 人以上の世帯）

5. 調査期間

- ・令和 5 年 9 月 1 日（金）～15 日（金）

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研
 リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F
 TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038
 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>